埼玉県ICT活用 実践事例

ICTで 授業 をDX!

^{学年} 小学校 6 年

国語

オクリンクを活用した授業

使用するアプリケーション等

ミライシード

(ムーブノート)

単元・題材 秋探し

本時の目標 秋を感じさせる言葉について理解を深め、それらの言葉を使って、表現を工夫し俳句を作ることができる。(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・ムーブノートの活用により考えの共有が簡単にできるとともに、要する時間を短縮できるので、授業の効率化を図ることができる。
- ・名前を非表示にして作品を共有することで、先入観なく作品に投票することができる。
- ・投票結果が自動で集計されるため、すぐに結果を知ることができる。

DX前(ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①前時までのノートや掲示物を見て、既習事項を確認する。
- ②ワークシートを確認し、自分や友達の秋に関する言葉を確認する。
- ③本時の課題を知る。

2 展開

・めあて

「秋」を表す言葉を知り、「秋」を表現する俳句を作ろう。

- ①「秋」に関する語句を集め、俳句を作る。
- ・教科書や国語辞典を使って秋を表す言葉を集めさせる。
- ・ワークシートに俳句とその意図や思いを書かせる。
- ②「秋」に関する俳句を見合う。
- ・班ごとに分け、作品を机上に置いて見合う。
- ・作品を読んだ感想や、よいところを付箋紙に書いてワークシートに貼る。
- ③グループで俳句を読み合う。
- ・グループ内で俳句を声に出して発表し、作成の意図を伝える。
- ・聞き手は、感想やよさを伝える。

3 まとめ

①学習の振り返り

・分かったこと、できるようになったこと、今後学んでいきたいことをノートに書いて発表させる。

D X 後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

①端末を起動し準備する。前回の学習で進めた事を確認する。大型モニターや各児童の端末に学習内容を映し出す。

冬夜キ

河にキー

ら見そい 時冬

れれたにに

さ自らラ族

っに 光行

うの

な中

· 物だ を ラ星

とを

星がに

つつ

- ②自分や友達の考えを確認する。 (ムーブノートを使用)
- ③本時の課題を知る。

2 展開

めあて

「秋」を表す言葉を知り、「秋」を表現する俳句を作ろう。

- ①「秋」に関する語句を集め、俳句を作る。
 - ●教科書や国語辞典、端末を使って秋を表す言葉を調べる。 ※Google検索を使い、秋の季語を検索する。
- ②「秋」に関する俳句を見合う。
 - ●端末を使って、1番秋を感じられた俳句に1票を入れる。 ※ムーブノートの広場で「いいね」機能を活用する。
- ③グループで俳句を読み合う。
 - ●グループで俳句を読み合う。俳句の作成意図や、聞き手はよかったところを伝え合う。
- 3 まとめ

①学習の振り返り

学習を進めて分かったこと、できるようになったこと、今後学んでいきたいことを<mark>端末上でまとめ、データで提出する。</mark>

※ムーブノートの広場に、児童にまとめたものを提出させて、全児童が閲覧できるようにする。



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・作品の共有、投票、集計の時間を削減することができた。
- ・言葉を集めたり、俳句を作ったりする時間を確保することができた。
- ・画面上に友達の作品が残ることで、友達の言葉選びや表現の仕方を参考にしやすくなり、次の俳句作りに生かすことができた。
- ・言葉集めは、端末だけに頼らずに、国語辞典も併用させたい。

DX!